

令和6年度 市長のタウンミーティング

日 時 9月21日（土）午後7時30分～8時30分

会 場 クロスベイ新湊

出席者 市長、企画管理部長、財務管理部長、市民生活部長、都市整備部長、
企画管理部次長、財務管理部次長、危機管理監、生活安全課長、
道路課長、未来創造課長（司会）

参加者 55名（うちメディア3）

○ 質疑応答

発言者1

- 地震の住民説明会の際も言ったが、カモンショッピングセンター閉鎖によって買い物難民が発生し、移動手段の確保も難しくなっている。今回の話を聞き、のるーと射水を使えば有効だと思った。市の西側でも早く運用してほしい。

回答【市長】

- 現在、のるーと射水は市の東側で運行している。北東エリアについては、実証運行中で、効果や課題を把握し、本格運行していきたい。他地域に関しては、課題やノウハウを生かして、順次展開していけたらと思う。もう少し待っていただきたい。

発言者1

- 元日の能登半島地震で、住民は自分の命は自分で守るということを再認識したと思う。放生津防災会では毎年防災訓練を行っているが、もっと実のあるものにしようと思い、今年は11月24日（日）の午前9時から11時に新湊中学校で実施予定だ。

今回の地震では、垂直避難ということで避難所に行ったが 避難所開設が遅れ、寒い中数時間待った方もいたと思う。FMB（ファーストミッションボックス）が実用されているところもある。避難所に来た人が自分で避難所を開設し、管理者が来たらバトンタッチするというもので、今回の訓練では実際に住民の力で行いたい。ドアが自動開錠するか確かめ、受付、体育館でのテント約50張りの設置を防災会のメンバーと自治会長中心で取り組もうと考えている。

住民は100人程度動員するつもりで、来年は新湊放生津小学校で実施したい。自動開錠についてやテント等、資材の貸出しなど市には協力してほしい。

回答【市長】

- 元日の能登半島地震で大きな被害を受け、混乱もあった。それを課題として捉え、対応方法を訓練に活かす取組をしていただけるのはありがたい。連携しながら実効性の高いものを実施できればよいと思う。また、ファーストミッションボックスについては、復興説明会などで情報提供いただいている。検討し、市の防災強化を図りたい。放生津地域で得られたノウハウを他地域の防災訓練などでも活かしていけたらよい。

発言者 2

- 戸破地区に住んでいる。去年のタウンミーティングでも言ったが、2002年の旧小杉町の時に道路拡張のために用地を提供した。22年経っても売買契約が済んでいないため、市長の任期中に売買契約を済ませてほしい。

回答【市長】

- 去年もお話を聞きながら、解決してないのは申し訳ない。この後、情報共有させていきたい。

発言者 3

- 私が住んでいる片口地区は市の北東エリアであり、のる一と射水が実証運行している。朝の通勤・通学時間はコミュニティバスも運行し、その後ののる一と射水のみになるが、問題がある。

息子を例に挙げると、朝の小杉駅行きのコミュニティバスは、あいの風とやま鉄道とダイヤが合っていて使いやすい。だが、帰りにのる一と射水を午後4時半に予約すると、6時半にならないと乗れないと回答が来て、小杉駅から帰れないそう。前日に予約すればいいのかもしれないが、通勤・通学で利用する人は当日にならないと帰る時間が分からないと思う。富山市には駅の近くに時間を潰せる施設があるが、射水市にはない。今後、北東エリアでは実証運行のアンケートも取られると思うが、意見を反映してほしい。

回答【市長】

- 北東エリアは実証運行で課題を洗い出している状況だ。太閤山を中心とする南東エリアは住居が密集しており、システム対応がしやすく、最初の実証運行し、本格導入した。北東エリアは集落が点在しており広く、予約しても待ち時間が長くなることを懸念していた。

これらの解決方法は、いただいた予約を効率の良い運行や乗り合わせにする

AI の学習習熟度を上げることが考えられる。また、南東エリアは5台、北東エリアは6台で運行しているが、この運行台数でいいのかも検証中だ。乗りたい時に予約し、それほど待つことなく乗ることができるのがオンデマンドバスの長所であり、それが活かせないなら対策が必要だと思う。

小杉駅の周辺で学生が待ち時間できるスペースがあればよいとのことだが、小杉駅南の平和堂アルプラザの2階の一角を市が借りて、ビジネスサポートセンターなど、学生が使いたいときに使えるスペースを作ろうと準備中である。いただいた内容を踏まえて検討していきたい。